

令和5年第3回富谷市議会定例会

一般質問通告書

質問順	氏名	質問順	氏名
1	菊池 美穂	7	菅原 福治
2	浅野 直子	8	佐藤 浩崇
3	長谷川る美	9	小松 大介
4	出川 博一	10	畑山 和晴
5	畠山 由美	11	渡邊 清美
6	村上 治	12	須藤 義

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	9月20日(水)
受付時間	8:43

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 9月20日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 7 番 菊池 美穂

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 糖尿病対策について

【質問要旨】 一簡明に一

糖尿病は、自覚症状が乏しいことから「サイレントキラー」とも呼ばれており、食生活や運動習慣等の生活習慣の変化や高齢化に伴い、世界的に増加を続けています。

令和4年度HbA1cの健診有所見率（危険度境界の5.6%以上）は、厚生労働省のデータで、男性全国値57.8%、宮城県73.5%に対し、富谷市80.5%。女性全国値56.5%、宮城県75.1%に対し、富谷市81.3%。総数にして全国値57.1%、宮城県74.4%に対し、富谷市80.9%と、本市における数値は突出しており、全国値を上回る宮城県全体の中でも、高い数値であり、重く受け止めなければならない現状です。

この現状を改善するため、特定健診にくわえ重症化予防に継続的に注力し、運動習慣の定着や対象年齢など疾病予防事業の拡充、全庁での連携、市民の意識の醸成、課題の共有等、これまで以上に糖尿病対策を強化し、市民が健康に生活できる環境を作ること、住みたくなるまち日本一を目指す本市の喫緊の課題ととらえ、以下質問します。

【質問項目】 一列 記一

- 1 本市の糖尿病患者、糖尿病予備軍の人数と比率、および国、県、他市町村との比較は。また、要因・課題をどのように分析していますか。
- 2 現在、予防のために市で行っている取り組みの詳細は。
- 3 疾病予防事業の成果は。50歳から65歳までの対象年齢を、40歳からとするなど、拡充すべきでは。
- 4 健康推進計画に糖尿病対策の強化を盛り込み、目標設定をすべきでは。
- 5 本市に罹患者および予備軍が多いこと、地域性から罹患可能性が高いこと等を知らない市民が多くいます。市の傾向をとらえ、自覚症状の乏しい性質からも、周知啓発の工夫が必要では。
- 6 小中学校における糖尿病の正しい知識の教育は十分ですか。1型糖尿病に罹患している児童生徒を支える環境整備、支援体制は。
- 7 糖尿病対策のさらなる強化は、全庁的な課題の共有、連携、また市民の意識醸成とともに進めるべきと考えますが、見解は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 新田橋の路面陥没を受け路面下空洞調査の強化を

【質問要旨】－簡明に－

本年7月30日夕刻、新田橋の袂（市道仏所太子堂中線 宮城交通富谷営業所付近）に路面陥没による大きな穴が生じ、通報により発見されました。車道・歩道の交通規制とともに緊急修繕工事を行い、幸い人的被害はありませんでしたが、路面下には深さ7m、幅2m、長さ4mほどの空洞が確認され、発見が遅れば、人命にかかわる深刻な事案でありました。不特定多数が通る道路において、目に見えない危険性の事前把握と、適切な対策による安全の確保は急務です。

路面陥没の発生原因となる、地中埋設インフラの老朽化・破損や、近年多発頻発化している地震や豪雨、長引く酷暑の影響なども鑑み、市内全域において同様の事案を繰り返さないよう、速やかに取り組まなければなりません。

この事案を受け、令和5年度より開始されている「路面下空洞調査」による、予防保全型のインフラ整備に、さらに注力すべきと考えます。

【質問項目】－列 記－

- 1 7月30日夕刻、新田橋の袂で発生した路面陥没の事案詳細、原因は。
- 2 当該車道・歩道の交通規制について。
- 3 復旧完了までにかかる費用、期間について。
- 4 この事案を受け、予防保全型のインフラ整備の重要性への見解は。
- 5 路面下空洞調査の対象路線の選定方法は。
- 6 路面下空洞調査をさらに市内全域において強化すべきと考えますが、見解は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	9月20日(水)
受付時間	10:25

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 9月20日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 13 番 浅野 直子

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 更なる福祉サポート事業の展開は

【質問要旨】－簡明に－

全国では2020年の単身高齢者は約670万人となり、この20年間で倍増しました。2040年には900万人に達するともいわれています。

特に、単身高齢者の誰にも頼れない状況について、人との繋がりが希薄になる場合も多く情報の共有が大事になって参ります。福祉向上に向けた取り組みに官民連携で希望に沿うエンディングサポート事業として終活支援があります。終活支援は本人の“意思”を生前登録し、官民連携で希望に沿う葬送を行う事業で、身寄りのない単身高齢者など本人の意向が尊重される事業となっています。本年12月に市営墓地の利用も始まることから、関連する支援のあり方を問います。

また、障がい者支援にグループホーム施設や就労支援施設など、親亡き後にも安心して暮らせる環境整備をさらに推進すべきであると考え質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 単身高齢者の増加傾向による、本市のサポート事業について伺います。
- 2 単身高齢者の終活支援について、エンディングサポート事業の展開が自治体により官民連携で推進されるようになりました。この事業について、本市の見解を伺います。
- 3 身寄りのない単身高齢者の葬送による市営墓地使用について、どのような見解をお持ちなのか伺います。
- 4 障がい者に対する支援について、特に、親亡き後の環境整備の充実を図り、安心して暮らせる施設の拡充を求め、本市の見解を伺います。

答弁を求める者 市長

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 温暖化対策と環境整備について

【質問要旨】－簡明に－

今年ほど地球温暖化、異常気温、連続酷暑続きなど、連日この言葉を聞かない日はない状況で、10月も高温という気象庁の発表もありました。

本年、高齢者の熱中症対策について、きめ細やかな支援を求め、また、昨年年第2回定例会では、ペットボトルやプラスチックごみ削減の取り組みにマイボトルの普及と給水スポット設置に向けた取り組みを質しました。

ますます地球温暖化は進み、ゼロカーボンの取り組みが加速するものと思います。「市民目線の生活環境において出来ることから」と捉え、給水スポットなども役割を果たすものと考えます。現存の公共施設や新設される施設へ是非とも設置していただき、マイボトル普及と熱中症対策、そして環境問題を見据え質問します。

また、公共施設屋内の利用者への熱中症対策についての啓発や、取り組みについても伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 太陽光発電未整備の町内会館などへの設置について見解を伺います。
- 2 持続可能な観光の促進に向けた環境整備、ペットボトル削減対策として、公共施設等に給水機を設置した場合、国補助率2分の1対象になっていますが、本市の見解を伺います。
- 3 「やすらぎパークとみや」などの施設へ、ボトル対応の給水機設置の方向性について伺います。
- 4 地球環境に配慮した生活目線での啓発や取り組みを紹介した冊子が作成、全戸配布となり各家庭で認識を深めたと思います。今後に向けた本市のごみ削減や、取り組み等伺います。
- 5 今夏のまさに異常な酷暑による熱中症対策について、特に公民館やスポーツセンター等の屋内公共施設利用者への啓発や取り組み・対応について伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	9月20日(水)
受付時間	11:38

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 9月20日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 12 番 長谷川 る美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第6
2条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 さらなる投票率向上策の取り組みについて

【質問要旨】－簡明に－

先の、富谷市議会議員選挙は無投票となりましたが、8月27日の河北新報の記事では「1月の市長選の投票率が42.20%で過去最低となり、市政に対する有権者の関心の低さを露呈したばかりだっただけに、市議選は市民の市政離れに拍車をかけかねない、憂慮すべき結果となった」とあります。

県議選が10月に控えている中、政治参加を促すうえで、投票率向上策は喫緊の課題であると考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 市議選の無投票のお知らせを、どのような形で市民に周知されましたか。
- 2 投票率の目標となる数値はありますか。
- 3 交通弱者とされる投票所に行くことが困難な方に対する移動支援は。
- 4 市議選において、若者向けの選挙啓発で予定していたことはありましたか。
- 5 投票に支援が必要な人にも安心してもらえるために、「投票お助けカード」の様な取り組みの検討は。

答弁を求める者 選挙管理委員会委員長

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 子供たちへの見守り体制の更なる強化について

【質問要旨】－簡明に－

9月13日富谷武道館1階会議室にてスクールガード養成講習会が開催され、出席致しました。その中で、出席者の数が少ないことや、スクールガードリーダーの活動日数が少ないこと等について、早急な改善の必要性を感じ、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 「スクールガード養成講習会」の継続的に開催する中で、課題を踏まえ、資質向上と新たな人員確保に向けたさらなる対策は。
- 2 「こども110番の家」対応の手引きについての見解は。
- 3 スクールガードリーダーが、活動しやすい体制づくりについて市の見解は。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	9月20日(水)
受付時間	13:06

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 9月20日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 14 番 出川 博一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	出川 博一
質問方式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 市想定スタートアップ起業とは

【質問要旨】－簡明に－

令和5年度当初予算重点施策の一つとして、ビジネス交流ベース（愛称：NIYADO）運営事業が新たに加われました。

さらに、スタートアップ推進支援業務として150万円、スタートアップ都市推進協議会負担金50万円が計上されています。

「スタートアップ」という言葉はよく耳にするが、その主体により捉え方が違う。本市が推進しようとしているスタートアップ起業創出とは、どのようなイメージなのか、お尋ねします。

【質問項目】－列記－

- 1 富谷塾は6年目に入るが、起業創業した事業者数は。
- 2 ビジネス交流ベース（NIYADO）の入居者の動向は。
- 3 スタートアップ推進支援業務はビジネス交流ベースが中心となるのか。
- 4 スタートアップ都市推進協議会との関わり方は。
- 5 サテライトオフィス定着促進事業9,745千円の具体的な内容と、その進捗は。

答弁を求める者 市長

議員名	出川 博一
質問方式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 総合計画 人口フレームの改定は

【質問要旨】－簡明に－

「100年間ひとが増え続けるまち」をまちづくりの将来像の一つに掲げ、市総合計画に明記しています。

後期基本計画（2021年度～2025年度）の基本構想において、2020年12月末現在の住民基本台帳人口は52,431人となり、人口の増加傾向は緩やかになっていますと分析したうえで、「しかしながら、新たな住宅地の開発や、各種施策の展開によって、2025年時点での人口55,000人の目標人口達成は可能と考え、人口フレームの改定は行わず、各種施策の展開を進めてまいります。」と記載しています。

住民基本台帳人口の動向を注視する中で、後期基本計画の人口フレーム（2025年度55,000人）の達成は困難なものと想定するが、見解をお尋ねします。

【質問項目】－列記－

- 1 人口増減の捉え方は、国勢調査ベースが中心になるのか。
- 2 住民基本台帳上の社会増減、自然増減の動向の推移と所見は。
- 3 第2次人口ビジョン策定時（2021年3月）、「出生率を上昇させる施策に取り組むことが、将来想定される人口減少の度合いを軽減させるうえで、有効である。」との指摘があったが、具体的な対策はどのようなものだったのか。
- 4 策定時から2年経過、その対策の有効性をどのように評価しているのか。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	9月20日(水)
受付時間	13:33

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 9月20日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 5 番 嶋山 由美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畠山 由美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 高齢者の交通支援について

【質問要旨】－簡明に－

これから多くのご高齢の方が、車の運転免許を返納したとき、富谷市全域で不便なく移動できる手段、交通アクセスについて、どのような取り組みを考えているのか質問します。

泉中央からの地下鉄延伸事業と並行して、富谷市内を循環する交通システムの充実を図るべきだと考えます。

現在は、市民バス、イオン富谷バス、一部地域でのデマンド型交通等を運行されていますが、市民の皆様からは「地域によっては路線から外れている」、「本数が足りない」等の声があり、その他にも、市民健診や、とみパス申請等のため公民館、各出張所までの移動についての要望もありました。

日々の買い物や、通院、公園などへの移動手段として、市民の皆様が安心して利用できる取り組みを検討すべきと考え、以下、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 富谷市全域の方が不便なく移動できる手段について、どのように考えていますか。
- 2 市民健診は夏に行われますが、猛暑の中、徒歩で公民館までの移動が困難な方への交通支援はお考えでしょうか。
- 3 移動スーパー事業について、どのようにお考えでしょうか。

答弁を求める者 市長

議 員 名	畠山 由美
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 <input checked="" type="checkbox"/> 一問一答

No. 2 質問件名 帯状疱疹等の予防ワクチンの助成について

【質問要旨】－簡明に－

帯状疱疹について、多くの方から悲痛な声をお聞きしました。「とにかく痛くて眠れない」、「もう半年以上も治らない」、「耳の中にできて、顔面神経麻痺を発症した」など、皆様が本当に辛い経験をされています。

また、帯状疱疹の治療薬は抗ウイルス薬で保険が効いても非常に高額となっております。

帯状疱疹の予防ワクチンの接種費用の助成は、関東地方では、すでに多くの自治体で実施しており、東北地方においても取り組みは始めているところです。

ワクチンの接種費用の助成は、医療費削減や現役世代の負担軽減にも繋がっていくものと考えます。

多くの市民の方が一日も早い取り組みを待望しており、一人でも多くの方が帯状疱疹に罹らないための施策を実施すべきと考え、以下、質問致します。

【質問項目】－列 記－

- 1 新型コロナウイルス感染症のように、予防医学の重要性に対する認識を伺います。
- 2 帯状疱疹ワクチン助成について見解を伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	9月21日(木)
受付時間	10:15

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 9月21日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 9 番 村上 治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	村上 治
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 放課後児童クラブ運営委託について問う

【質問要旨】－簡明に－

本市の放課後児童クラブは、保護者の就労等により、昼間家庭にいない児童に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ることを目的として実施されています。

放課後児童クラブにおいて、児童が安全に過ごし、保護者が安心して就業等に専念できるようするためには、市は業務受託者の業務実施状況を継続的に、かつ的確に把握する必要があります。更には、その業務内容について、契約書等により明確にし、あわせて報告書式等を定める必要があると考えます。

そこで、以下の点について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 日々の児童数及び従事職員数の確認方法の現状と今後について。
- 2 児童の出席簿や指導日誌など、作成すべき書類の書式等を定めることについて。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	9月21日(木)
受付時間	10:42

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 9月21日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 17 番 菅原 福治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	菅原 福治
質問方式	一括 ・ 一問一答

No. 1 質問件名 仙台医療圏再編構想の現状把握について

【質問要旨】－簡明に－

本市には急性期24時間緊急手術ができる整った総合病院は有りません。ほとんどの救急患者は仙台市内に搬送され、救急搬送時間についても県平均輸送時間を大きく上回っているのが現状です。このことは市民の命と健康に直結する問題であることから、今回の病院の再編合築等総合病院の誘致には、市民のほとんどが注意深く大きな関心を持って見守っております。

人口減少時代に入り、患者が減って施設の安定的な経営が難しくなっていることは理解します。また、県主導であることも理解しておりますが、大事なのは県民全体最適の考え方だと思います。その中で、我々市民が利用する病院にも関わらず、あまりにも情報が少ない印象を受けております。もう少し、当事者からの丁寧な説明や情報発信を戴きたいと思っております。

【質問項目】－列記－

- 1 県立精神医療センターと東北労災病院とが合築する方針と、県立がんセンターと仙台赤十字病院が統合する方針の現状について、どのように把握しているのか。特に本市に係わる合築についての市長の想いについて。
- 2 今後、市としてどのような形の支援が考えられるのか、また、検討しているのか。
- 3 県主導で難しいことは理解しますが、市民の大きな関心事であり、市民および関係者へのできる限り丁寧な説明と、情報発信を県に要望してはどうか。

答弁を求める者 市長

議 員 名	菅原 福治
質 問 方 式	一括 ・ 一問一答

No. 2 質問件名 熱中症対策の推進に全力を

【質問要旨】－簡明に－

今年の夏はこれまでで最も暑かった夏でした。気象庁によりますと8月の仙台の平均気温は28.6度で、平年を4度以上も上回り、特徴は30度を超えた真夏日が20日間連続し、97年前に観測を始めてから史上最高の記録ということです。

そのために、熱中症を発生し多くの死亡者が出ています。

そのような中、政府は今年の5月30日に熱中症対策として、関係省庁が今後5年間で取り組む「熱中症対策実行計画」が閣議決定され、内容は、2030年度までに熱中症による死亡者を半減させるのが柱になっています。

こうした状況を踏まえ、本市においても今後起こり得る極端な高温に対して、熱中症の発生予防を強化するための、取り組みを一層強化することが必要と考えます。

【質問項目】－列 記－

- 1 熱中症から市民の命を守るための取り組みはどのようにされたのか。
- 2 熱中症による全体搬送者数と65歳以上の高齢者の割合について。
- 3 環境省による「暑さ指数」活用について、情報発信等々周知すべきと思いますが見解を。
- 4 高齢者の熱中症予防を進めるために、どのような取り組みを行なっているのか。
- 5 埼玉県熊谷市の「まちなかオアシス事業」(クリーンシェルター・クールシェアスポット)を参考に、本市においても公民館や民間事業所などと協働して取り組みを検討しては。
- 6 高齢者世帯のエアコン利用を促す取り組みは。
- 7 小・中学校の体育館へ、スポットエアコンも含めた、エアコンの設置について。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	9月21日(木)
受付時間	11:12

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 9月21日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 2 番 佐藤 浩崇

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	佐藤 浩崇
質問方式	<input type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 1 質問件名 医療体制の需給ひっ迫予防に向けた予算化を

【質問要旨】－簡明に－

宮城県では9月14日、県内全域にインフルエンザ注意報を発表しました。本市も含め多くの学校において、インフルエンザ流行を理由に学級・学年閉鎖の措置が取られました。

異例な時期でのインフルエンザ流行となった理由について、専門家は、コロナ禍を経てインフルエンザの免疫が無くなったことを挙げています。また、今年の冬は規模の大きい流行が早期に到来すると思われるとして、注意を呼びかけています。

【質問項目】－列記－

- 1 子どもインフルエンザワクチン任意接種費用助成事業とおたふく風邪ワクチン任意接種費用助成事業は、令和6年度の当初予算に組み入れて継続的に実施してはと考えますが、本市の見解は。
- 2 今年の冬は規模の大きい季節性インフルエンザの流行が早期に来ると思われるという専門家の指摘があります。ワクチン接種を含め、早い時期から市民に向けた注意喚起が求められると考えますが、本市の見解は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	佐藤 浩崇
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 2 質問件名 町内会活動の情報共有について

【質問要旨】－簡明に－

町内会役員の高齢化やコロナ禍による生活様式の変化を含め、さまざまな理由により、全国的に町内会離れが深刻化しています。その反面、大規模災害が増加し、近隣住民との共助の重要性にも注目が集まっています。

有事において市民の生命・生活を守るという見地から、町内会活動の維持・活性化は重要なものと考えます。

【質問項目】－列記－

- 1 各町内会の取り組みや困りごとを情報交換したり、好事例を共有したりする場があることが望ましいと考えますが、本市の見解は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	9月21日(木)
受付時間	13:26

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 9月21日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 1 番 小松 大介

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	小松 大介
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 富谷市の林業について

【質問要旨】

本市には684haという広大な人工林が存在しますが、林業の衰退により適正な管理が行き届いていないように思います。一方、国の方針で令和3年度より森林環境譲与税、さらには令和6年度からは森林環境税という住民一人あたり1,000円を徴収する税金制度がスタートします。そこで以下の質問をいたします。

【質問項目】

- 1 富谷市の林業の現状について伺います。
 - ① 間伐などの維持管理の状況。
 - ② 伐採・製材化された木材の実績。
 - ③ 植林の実績。
- 2 森林環境譲与税の実績及び今後の活用方法について伺います。
- 3 森林環境税について、想定される税収とその使い道について伺います。

答弁を求める者 市長

議 員 名	小松 大介
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 2 質問件名 有機栽培の現状とみどりの食料システム戦略について

【質問要旨】

農水省が令和3年に策定したみどりの食料システム戦略は持続可能な農業の実現のために、日本が今後目指すべき農業の指針ですが、肝心の農家には全くと言っていいほど周知されていません。私が特に注目している、有機栽培の栽培面積を25%にするという指針にしばって、以下の質問をいたします。

【質問項目】

- 1 富谷市における有機栽培・環境保全栽培の実績について伺います。
- 2 みどりの食料システム戦略についての認識と農家に対する周知について伺います。
- 3 スローフードのモデル都市を目指す意思について伺います。
- 4 富谷はちみつプロジェクトにおけるネオニコチノイド系農薬に対する意識とその対策について伺います。
- 5 今後、有機栽培を推進していく考えがあるか伺います。

答弁を求める者 市長

議 員 名	小松 大介
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 3 質問件名 新型コロナワクチン接種の副反応報告件数およびXBBワクチン接種の推進について

【質問要旨】

新型コロナワクチン接種による後遺症や死亡事例の報告が多数あがっているにもかかわらず、政府もマスメディアもほとんどその危険性・リスクを取り上げない。そのような中で今後推進されるXBB対応型mRNAワクチンについて、以下の質問をいたします。

【質問項目】

- 1 新型コロナワクチン接種に係る健康被害救済制度について伺います。
 - ① 富谷市におけるワクチン副反応の相談件数及び申請状況について。
 - ② 制度の周知について本市が行っていること。
 - ③ ワクチン接種のリスクについて市民に周知する考えは。
- 2 XBB対応型mRNAワクチンの有効性について国から示されているものがあれば提示願います。
- 3 自然免疫力を上げるために本市が行っている工夫などがあるか伺います。
- 4 小、中学校における児童生徒のマスク着用について、市の見解を求めます。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	10
受付月日	9月21日(木)
受付時間	14:08

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 9月21日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 11 番 畑山 和晴

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	畑山 和晴
質問方式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 小・中学校の特別教室へのエアコン設置は

【質問要旨】－簡明に－

今年の夏は、例年と比べても非常に暑く、9月に入ってから30℃を超える日が続き、そのような状況下でも子どもたちは学校生活を送っています。

学校のエアコンを他自治体よりも早く設置したことに関して、非常に高く評価しています。また、子どもたちはもちろんのこと、保護者や先生方も環境整備に感謝しています。

ただ、特別教室にエアコンは設置されておらず、扇風機やスポットクーラーでしのいでいます。しかし、広い教室では全体に風は行き届かず、また、スポットクーラーに関しては、音がうるさい等の問題があります。

近年、これほど気温が高くなってきている状況では特別教室へのエアコン設置は必須であると思います。

以下質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 保護者からの特別教室へのエアコン設置についての要望はありましたか。
- 2 教員からの特別教室へのエアコン設置についての要望はありましたか。
- 3 今夏、エアコンのない特別教室での状況はどうでしたか。
- 4 特別教室へのエアコンの設置は必要であると考えますが、検討はされていますか。

答弁を求める者 市長

議 員 名	畑山 和晴
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 給食着の撤廃について

【質問要旨】－簡明に－

以前、「化学物質過敏症について」を一般質問しました。その中で、「給食着の柔軟剤の対応は」についての質問に対し、教育委員会では、注意喚起のお便りを配布し対応していただきました。しかし、まだまだ柔軟剤の香りに関しては保護者からの声が聞こえてきます。また、コロナ禍で着回しをすることで衛生面を心配する声も聞こえてきます。

今、全国の自治体では、個人の給食着を用意する動きが増えてきており、匂いや衛生面に対する不安、アイロンをかける手間などの解消に繋がっています。

給食着に関し、私にも色々な意見が寄せられます。今の時代の状況に即した対策を講じるべきと思い、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 給食着に関し、保護者からの要望等は届いていますか。
- 2 小学校入学時におけるお祝い品として準備し、体が大きくなってきた中学年からは家庭科でエプロンを作成するなどの方法があると思いますが、見解は。
- 3 給食着に関しての保護者からのアンケート調査等を行い、状況把握と今後の対応を早期に行うべきと思いますが、見解は。
- 4 給食費無償化となったことから、その枠組みの一つとして給食着を支給しても良いのでは、見解は。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	11
受付月日	9月22日(金)
受付時間	10:09

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 9月22日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 8 番 渡邊 清美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	渡邊 清美
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 医療的ケア児(者)について

【質問要旨】－簡明に－

医療の進歩により、医療的ケアを受けながら在宅で過ごす方が多くなっています。全国的に増加の傾向にあるにもかかわらず、自治体による対応がまちまちです。

家族だけで抱えこんでしまう事例もあり、取り残さない対策が必要です。

また、災害時の個々の避難計画が重要と考えます。避難場所の確保や在宅避難時の支援等、特に電源の確保は命にも関わることです。

医療的ケア児(者)への個別支援計画の策定が急務と考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市での医療的ケア児(者)の現状、全数の把握はされているのか。
- 2 医療的ケア児(者)及びその家族等からの相談状況は。
- 3 医療的ケア児(者)コーディネーターの配置はされているのか。
- 4 災害時の医療的ケア児(者)に対する個別計画の策定状況は。
- 5 災害時の電源確保はどのようになっているのか。
- 6 災害時の非常用品購入の補助の考えは。

答弁を求める者 市長

議員名	渡邊 清美
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 2 質問件名 市立幼稚園の民営化について

【質問要旨】－簡明に－

令和5年9月19日の議員全員協議会で、市立富谷幼稚園の民営化に向けた経緯、取組方針が出されました。

令和3年度には、東向陽台幼稚園も閉園しています。幼児期の大切な時期の支援を、市が責任をもち運営をすることが必要と考え、以下質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 市立幼稚園の役割をどのように考えているのか。
- 2 民営化以外の考えは。
- 3 支援が必要な幼児に対する今後の対応は。

答弁を求める者 教育長

議 員 名	渡邊 清美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 3 質問件名 発達障害、支援が必要な児童生徒について

【質問要旨】－簡明に－

文部省の調査では、通常の学級に在籍し、教育的支援を必要としている児童生徒は、小中学校で8.8%、高校では2.2%であり、小中学校の35人学級であれば3人程度は支援を必要とする児童生徒です。

また、通級指導教室で指導を受けている児童生徒は小中学校で10.6%と年々増加しているものの、対応が十分に出来ていないのが現状です。

発達障害はいは多種多様であり、支援は個人のニーズに合ったきめ細かい支援が必要と考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 第6期障がい福祉計画、第2期障がい児福祉計画での発達障がい者への取組と、課題等が無いのか。
- 2 次期、第7期障がい福祉計画、第3期障がい児福祉計画での発達障害の位置付けと取り組みについて。
- 3 発達障がい児の教育現場の現状と課題は。
- 4 個人のニーズにあった支援はできているのか。
- 5 市内小中学校の通級指導教室の現状は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	12
受付月日	9月22日(金)
受付時間	10:21

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 9月22日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 4 番 須藤 義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	須藤 義
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 不登校特例校・富谷中学校西成田教室について

【質問要旨】－簡明に－

本市では不登校状態にある生徒のため、不登校特例校として富谷中学校西成田教室が設置されております。昨年4月の開設から1年以上が経過した現状を分析し、その効果や課題を検証することで、不登校の生徒およびそのご家族に喜んでいただけるよう改善していくことを目指し、以下の質問を致します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市の不登校特例校・富谷中学校西成田教室について、その現状と課題をどのように分析されていますか。
- 2 今年度が開校した県内2つの不登校特例校との比較検証および情報交換等、連携の可能性は。
- 3 不登校特例校に在籍していない不登校生徒への支援について、現状と今後の取組は。
- 4 フリースクールなど民間機関やNPOとの連携について、現状と今後の取組は。